

平成29年度 第1回八雲町都市計画審議会 会議録（要旨）

開催日時：平成29年12月20日（水）10：00～10：45

開催場所：八雲町役場3階 議員控室

出席委員：平野百合子、坂野俊樹、黒島竹満、田澤和夫、嘉見正人、菅原利博

八雲町：岩村町長

事務局：馬着建設課長、横田建設課長補佐、藤田土木技術主幹、池田都市計画係長

傍聴者：なし

1. 開会（馬着建設課長）

2. 町長挨拶

開会にあたり、岩村町長より挨拶を行った。

3. 協議事項

（1）立地適正化計画の進捗について（事務局より説明）

1枚目の立地適正化計画策定スケジュールをご覧ください。本年6月にプロポーザルによって、本計画の支援業務の受託者が「パシフィックコンサルタンツ株式会社」に決定し、計画策定協議がスタートしました。現段階で完了している検討事項は、都市の現状把握及び課題の分析、まちづくり方針及び目指すべき都市構造の検討でございます。また、これまで計画策定検討会議を2回、庁内検討会議を3回行っております。2枚目の八雲町の都市の現状及び課題をご覧ください、八雲町の現状について、上から見ていきますと、全国的な傾向であります。八雲町においても着実に少子高齢化・人口減少は進んでおります。八雲町の面積は他の自治体と比較しても、大きい面積ですが、都市計画区域については、八雲地域の市街地部分の設定のみであり、都市全体に都市計画区域を設定している市レベルの自治体と比べると、元々コンパクトに市街地がまとまった、まちであると表現できるかと思いません。人口集中地区でも人口・面積ともに減少しており、平成25年時点で8,770戸の住宅のうち1,070戸が空家となっております。

次に、八雲町の財政力指数については、道内の同規模の自治体と比較しても平均を下回っており、財政に余裕がない状態といえます。例えば、八雲町公共施設等総合管理計画について試算を行い、今後30年間に改修・建替に必要となるコストと現状で回せるお金を、ここ数年の八雲町の普通建設事業費と考えた場合、現状の規模の公共施設をすべて、維持していくと仮定すれば、毎年7億円が不足していくとの試算結果も出ております。これらのことから厳しい財政状況といえます。八雲町が作成した津波ハザードマップ等によると、JR線路より海側は、津波浸水等の可能性があることがわかります。また、遊楽部川周辺部には河川増水による浸水想定区域があります。商業施設は駅前本町通や国道5号線沿いに集積し、その他は住宅地が主で、公共施設は分散しているが、シビックコア地区と呼ばれるエリアには

合同庁舎があり、一部施設の集積も見られます。また、公共交通の利用が低く、大體の人が車を持っており、移動については、ほぼ車社会といえます。事業所数・従業者数は減少しており、地価は低下が続いている。先ほども言いましたとおり、八雲は車社会であり、2030年に北海道新幹線新八雲駅が開業予定である。これらが、現在の都市の現状となります。この現状から、まちづくりの課題が見えてきます。上から人口減少・少子高齢化を前提としたまちづくりが必要。効率的なサービスの提供が可能なまちづくりが必要。効率・効果的な公共サービスの提供が必要。安心安全なまちづくりが必要。より生活利便性の高い市街地の形成が必要。最後に新幹線開業のインパクトを活かしたまちづくりが必要。以上5つの課題が見つかりました。

これらの課題に対し、次期総合計画や都市計画マスタープランとの整合を図り、まちづくりの方向性を整理致しました。

まずは、①つ目は、人口減少下においても市街地の人口密度を維持できるように、計画的に居住を誘導する。②つ目は、既存施設（公共施設・インフラ）など、今あるものを最大限活用し、公共サービスを維持する。③つ目は、海や川に面する地域は浸水リスクが高いため、比較的风险が低いところに居住を誘導する。また、子育てしやすいまちや高齢者がいつまでも現役で活躍でき、安心して暮らせるまちとして機能の維持・充実を図る。観光客・移住希望者に対しては、求めるニーズに応じた、魅力ある市街地環境を形成し、新たな交流の創出を図るなど方針を整理しました。

次のページに、立地適正化計画において、ターゲットとなるまちづくり方針を記載しております、「子育て世代も集まれる多世代交流型拠点づくりにより、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す」です。

内容的には、多世代交流を図る拠点を作っていきます。拠点の形成にあたっては、今ある資産活用を基本に求められる社会ニーズに対応していく。例えば、あくまでイメージですが、高齢者福祉施設と保育施設や図書館を統合して、各世代の交流と高齢者の生きがい・集会ニーズを確保するといった取組や、既存の商業施設に役場窓口機能や保育施設、学童施設を設置するなど、相乗効果が上げられる組み合わせを考えながら、歩いて動ける範囲に拠点形成を行い、拠点間を公共交通で結ぶため道路・交通網の再編を行い、合わせて新幹線開業に伴う交流人口拡大の取組も進めてまいります。

立地適正化計画を策定することにより、現状の人口減少によるまちの活力低下を交流人口拡大による新たな活力創出、少子高齢化に伴うニーズの変化・偏りを多世代交流型の複合的な拠点形成、厳しい財政状況下でのサービス提供をコンパクトで効率的な市街地形成に変えることによって、持続可能なまちづくりを目指します。次に目指すべき都市構造概念図を次のページに記載しております。

現状のマスタープランと整合を図り、先ほどのまちづくり方針、そして、本業務において行った分析結果を基に作成しております。

黄色の部分が居住促進エリア、ピンクの部分が商業振興エリア、青い部分が漁業振興エリアとなっており、医療福祉拠点、文化拠点、教育拠点、行政拠点、スポーツ拠点がそれぞれ示されております。青い矢印が交流軸、緑の矢印が生活軸となっております。コンパクトな市街地形成に向けて、「居住促進エリア」を設定しておりますが、「居住促進エリア」については①災害リスクが低くなるよう対象地をはずし②土地の利用状況（低未利用地）をはずし③主要施設の配置状況④骨格となる道路の配置などを踏まえて設定しております。

現段階での進捗はここまでであり、今年度のスケジュールとしては、立地適正化計画一番大事なポイントとなります、誘導区域に関する方針の検討を行ってまいります。また、来年2月に3回目の計画策定検討会議の開催を予定しております。H30年度は、本年度で検討した方針に基づき、都市機能誘導区域・施設の設定、居住誘導区域、計画目標管理の設定を行い、計画書（案）を作成します。12月ごろにパブリックコメントを予定しており、来年度末で計画を策定する予定です。

以上で立地適正化計画の進捗について報告を終わります。

（会長）

説明が終わりました、何か質問がございますか。

（坂野委員）

最近の新聞報道では、巨大地震の発生による10mを超える津波被害の可能性が話題となっているが、立地適正化計画では10m以上の津波にも対応したまちづくりを考えているのか。

（事務局）

八雲町が作成した津波ハザードマップによる浸水被害の高い場所を居住促進エリアから外しておりますが、10mを超える津波は想定しておりません。（最大6m）

（田澤委員）

道路の整備等もまちづくりとしては必要と思うが、今後は運転免許を返納する高齢者も増えてくると思う。そうなってくると高齢者等の足の確保が非常に重要になってくると思いますが、公共交通網の整備について、この計画では考えられているのか。

（事務局）

公共交通網の確保・再編については、ネットワークの現状と課題を把握し、誘導区域における施策の方向性について検討いたします。実際の具体的な交通網作成計画は別の計画として考えていくこととなりますが、本計画において公共交通の方向性については検討してまいります。

（2）八雲町都市計画道路3・4・2出雲通について（事務局より説明）

八雲都市計画道路であります、道道八雲北桧山線につきましては、平成26年に第1工区（国道5号線～旧税務署前通：町道末広通）区間が完成しております。現在函館建設部八雲出張所にて第2工区の（第1工区の終了～セイコーマートまでの300m）の実施設計作成が行われています。資料の5ページをご覧ください。4この区間300mが第2工区となります。現在の予定では今年度に詳細設計作成、H30年事業認可、用地測量、H31年用地買収、H32年以降に本体工事予定となっております。

6ページの航空写真をご覧ください、赤いマルで囲んだ部分に岡野橋という既設の橋がありますが、新規道路においては、安全性や経済性を考慮して、ボックスカルバートというコンクリート構造物に変更することを考えております。7ページがボックスカルバートの一般図となりますが、ボックスカルバートの前後にはウイングと呼ばれる、30cm厚の構造物を設置しなければならないため（赤い部分）、ボックスカルバート工部分の幅員が18.6mとなります。

八雲町都市計画道路出雲通の幅員は18mと決められているため、ボックスカルバート部分の区間（約8m）の幅員を18mから18.6mに都市計画変更しなければなりません。資料8ページの右下に変更前と変更後の定規図を記載しております。この都市計画変更については、八雲町の都市計画道路となるため、八雲町が変更手続きを申請しなければなりません。本日の本審議会場で、幅員変更について審議員皆様のご了承をいただき、町として北海道都市計画課へ変更申請を行いたいと考えておりますので、審議のほどお願い申し上げます。

（会長）

説明が終わりました、何か質問がございますか。

質問・意見等ないようですので、八雲町都市計画審議会として、八雲町都市計画道路「出雲通」の都市計画変更について、承認いたします。

その他と言う事で、何か皆さまから、ありますか。

（事務局）

次回の都市計画審議会を来年2月に予定しておりますので、ご連絡させていただきます。

（会長）

その他、無いようであれば、本日の会議を終了いたします。

本日は、ご苦労様でした。

以上終了